しんば賀津也と歩む会NEWS vol.39

発 行 日▸令和3年8月発行
発行部数▸10,000部
発行責任者▸会長 松下知生

参議院補欠選挙 候補予定者

山﨑 しんのすけ

国民民主党公認 衆議院選挙候補予定者

1区 高橋 みほ
静岡市葵区・駿河区

4区 田中 けん
静岡市清水区、富士宮市、富士市（旧富士川町域）

KAZUYA'S ROOM
賀津也の部屋

「中国の台頭と日本の覚悟」

「今後6年以内に中国は台湾を侵攻する可能性がある」

こんな衝撃的な発言をしたのは、米国のデービッドソン・インド太平洋軍司令官だ。司令官は今年3月の議会証言で、「米中の軍事バランスは激変しており、中国が一方的に現状変更を試みるリスクが高まっている。米国防省の調べでは4年後の2025年には中国軍の戦闘機は米軍の8倍、空母は3倍、潜水艦は6倍、戦闘艦艇も9倍に増える」と分析した。事実、中国は中国共産党革命100周年にあたる2049年までに、アメリカの地位を奪還し、世界秩序のトップに君臨することを国家目標にしているのだ。

尖閣諸島周辺においても緊張は高まっている。中国海警船などが独自の立場を主張し日本の領海に頻繁に侵入、日本漁船を追尾するなど、主権の侵害を繰り返している。中国は本年2月に海警法を施行させ、中国海警局は準軍隊組織となり、武器使用を含む軍事作戦を遂行することが可能となってしまった。専門家は、中国が尖閣諸島を侵攻する計画の実行段階に入ったと指摘する。

米国ではバイデン大統領が誕生し、最初の首脳会談の相手に日本の菅総理を選んだ。しかし、これを米国の対日重視と喜ぶのは誤りだ。バイデン大統領が日米会談を最優先にしたのは、ひとえに米中対立のカギとなるのが日本で、日本が覚悟をもって「日米同盟」を強化できるかを確認するためだ。日米共同声明に「台湾」を52年ぶりに明記したのも、日本を米中両者に良い顔をする「あいまい戦略」から決別させるためにほかならない。

「二度と戦争をする国にしないで…」
戦争未亡人だった亡き祖母の遺言だ。

人類はこれまでに何度も戦争を繰り返してきた。尊い数多の命を犠牲にしながらも、その教訓を生かせずに、戦争を繰り返してきたのだ。この今を「戦前」と呼ばせないためにも、今こそ非現実的な理想論に拘泥せず、また勇ましいだけの過度な武装論にも流されず、我が国の領土・領海・領空と国民の生命と財産を守るために政治が冷静に現実を分析し、リアリズムを追求することが大事なのではないか。

ちょっとひといき ▸［まちがいさがし］

左右でちがう箇所は全部で7個！
見つけられるかな？

答えは中面右下にあります

国民民主党幹事長
国民民主党静岡県連会長
参議院議員
榛葉賀津也

日頃より「歩む会」の皆様には、コロナ禍の厳しい状況下にもかかわらず温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。この度の熱海市で発生した土石流により、亡くなられた方々とご遺族の皆様に謹んで哀悼の意を表しますとともに、行方の分からない方の一刻も早い救出をお祈りいたします。また、被害に遭われた皆様に対して、心よりお見舞い申し上げます。

さて、2020年1月に日本で最初の新型コロナウイルスの感染者が確認されてから1年半が経過しました。世界に後れを取っていたワクチン接種もようやく始まり、医療従事者、高齢者、そして職域接種、地域での一般接種へと進んできました。新たな変異株の流行により、依然予断を許さない状況が続いていますが、感染の拡大防止に常に一人一人注意を払いながら、ポストコロナへの経済の立て直しに覚悟して取り組まなくてはなりません。

新型コロナウイルスは、世界を、日本を、揺るがす未曾有の出来事でありますが、コロナ禍において、日本の置かれている状況を直視する機会にもなりました。

人口減少と財政悪化という難題に直面し、日本が弱体化しているという現実もその一つです。コロナ禍前のインバウンド激増も、他の先進国や新興国の所得増加に対し、日本人の所得が低迷し、日本が相対的に豊かでない国になっていたことが一因であると客観的に認識すべきではないでしょうか。

我が国の勤労者世帯の平均年収はこの20年間で約24万円も減少し、かつて世界第2位であった国民一人あたりのGDPも、今や27位です。年収300万円以下の世帯は全体の33%にも及び、年収400万円以下は47%。一人暮らしの約半数が貯金ゼロ。これが現代における日本の生活実態なのです。

1989年（平成元年）「世界の企業TOP50」の内、32社が日本企業、TOP10に6社も入っていましたが、今はトヨタ自動車が、唯一、26位に入っているのみです。かつては日本の上位独占が当たり前だった「技能五輪」も、今や入賞さえ厳しい状況です。「ものづくり国家・日本」「科学技術先進国・日本」は、今や昔のことなのでしょうか。

我が国の科学技術力の低下が指摘される今こそ、官・学・民が連携して研究開発を推進し、国際競争力を高め、経済を活性化していかなければなりません。脱炭素化社会の実現に向けた水素エネルギーの活用、次世代蓄電池の開発、デジタル社会とIT国家の実現に向けたAI・ICT技術の開発分野などでは、苛烈な国際競争が繰り広げられており、国として、支援体制の強化が不可欠となっています。さらに今日、新型コロナ対策におけるICT技術やバイオテクノロジーの活用が期待されており、これらの分野を含め、科学技術関連予算の大幅な拡充、政策を総動員した企業の研究開発から社会実装までの支援が必要です。

コロナ禍で再認識した最も重要な事、それは、国家の基が国民一人ひとりにあるということです。「人」が「技術」を生み、「サービス」を生み、「企業」と「産業」と「経済」と「国家」を支えていくのです。

つまり、日本の劣化は、我が国が長らくこの原点を忘れ、「人への投資」を怠ってきた事の証左です。2019年9月のOECD発表によると、2016年の各国の小学校から大学までの教育機関に対する公的支出のGDPに占める割合は、35カ国中3年連続で最下位でした。コロナ禍以前でも、日本の教育予算が少なすぎました。先生の数も足りていません。すべては子どもたちのため、将来の日本を担う「人」のためです。コロナ禍を理由に学力の低下は許されません。今こそ、政治が「人づくり」に真剣に取り組む覚悟が求められます。

我々人類は、日本は、新型コロナなどに負けるわけにはいきません。

私は、これからも党派を超えて新型コロナ危機に打ち勝つために、あらゆる政策を駆使し、ポストコロナの日本再生に全力を傾けたいと思います。年内には「衆議院選挙」と「参議院補欠選挙」が行われます。二つの闘いを仲間と共に乗り越えて、将来「コロナ禍の辛く厳しい時代を踏ん張ったからこそ、今の明るい日々がある」と言えるように努力してまいります。今後とも、ご指導の程よろしくお願いいたします。

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル
TEL 0537-62-3355　FAX 0537-62-3356　E-mail go@k-shimba.com
http://www.k-shimba.com
公式ホームページQRコード

国政活動 PICK UP

202101 ▸▸▸ 202107

第204回 通常国会 1月18日〜6月16日

本会議にて2度の代表質問登壇 菅内閣総理大臣に質す

世界を見据えて。

日本のため、未来のため。

1/22

通常国会冒頭、施政方針演説に対して

4/22

菅内閣総理大臣の訪米報告に対して

3/25

国土交通委員会質疑

JRの二島貨物問題や目指すべき交通体系の将来像を関係各大臣に質す。

NHK「日曜討論」

出演前の御粧し（おめかし）

通常国会開会直後（1月24日）と会期末直前（6月13日）に出演。
新型コロナ対策や東京五輪、国会審議について各党幹事長と議論を交わす。

国民民主党 2021年度 定期大会（党大会）

4/2

党幹事長として、これからの国民民主党が向かうべき姿を基調提案。

ある日の両院議員総会

こくみんうさぎポロシャツを着て、選挙戦頑張ります!

「政策先導型」政党として様々な提案を行う

国民民主党 緊急経済対策（4月23日）

30兆円

- 10兆円 補償：事業者の固定経費 9割（最大） 月2億円（最大） 給付（家賃・光熱水費など）
- 10兆円 現金：現役世代10万円（1人） 低所得者20万円（1人） 給付
- 10兆円 減税：消費税 10➡5% 引き下げ

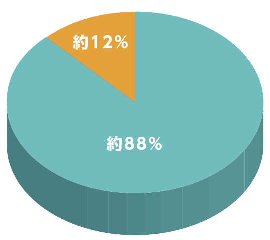
+税金・社会保険料等の 支払猶予延長・減免

政府提出法案等への国民民主党の賛成率

提出された法案等	76本
成立した法案等	73本

※条約11本も含む

賛 成	64本	87.67%
反 対	9本	12.32%



賛成:64本　反対:9本

国民民主党が提出した主な議員立法

- ●新型コロナ事業規模別支援金給付法案
- **●孤独・孤立対策推進法案**
- **●養育費確保施策推進法案**
- **●自衛隊法・海上保安庁法改正案**
- ●新型コロナ対応医療従事者等慰労給付金案
- ●低所得者子育て世帯緊急支援法案
- ●雇用保険法臨時特例法改正案
- ●強制労働廃止条約整備法案
- **●児童福祉法等改正(児童対象性犯罪等防止)案**
- ●公的新品種育成促進・在来品種保存法案
- **●自動車産業脱炭素化推進法案**
- ●経済財政等将来推計委員会設置法案
- ●国会法改正（両院合同協議会設置)案
- ●世界保健機関 (WHO) 台湾対応決議案
- **●日本版 PPP 法案**
- ●インターネット投票導入推進法案
- **●公職選挙法改正(定数6減等)案**
- ●消費者契約法等改正案

※黄色は国民民主党が主導した議員立法

地元活動 PICK UP

いつも心に。

202101 ▸▸▸ 202107

1/12

連合静岡議員団会議・第16回総会

連合静岡各組織の皆様や議員関係者の多くはリモート参加となったが、各議会からの報告や、ウィズコロナ時代の行政にどう向き合うかのパネルディスカッションなど、濃い内容で勉強させていただいた。

歩む会総会

2/6

3/1

第20回国政報告会

第20回国政報告会を[YouTubeしんばかづやチャンネル]にて**Web配信**。お忙しい方や、いつもは遠くてご来場いただけない皆さまにもご視聴いただき、新たな支援の輪が広がっていることに感謝申し上げたい。

新東名高速道路 新御殿場IC〜御殿場JC
国道138号須走道路・御殿場バイパス（西区間）
国道469号御殿場バイパス、県道仁杉柴怒田線

開通式典

山梨県への交通ネットワークが飛躍的に向上し、観光・物流等の地域経済の活性化、災害時の迂回ルート等富士山周辺地域全体の更なる発展が期待される。

4/10

4/26

国民民主党 静岡県連主催

2021政治セミナー

玉木雄一郎代表、伊藤孝恵副代表をゲストに迎え、静岡県連初の政治セミナーを東京のスタジオからWEBで開催。ゲストのお二人から多岐に渡るお話を頂き好評裏に終了。

国民民主党静岡県連 熱海市土石流災害街頭募金活動

7/28

県内各地の 選挙応援

3/28

静岡市議選（後藤哲朗市議）

4/18

森町議選（加藤久幸町議）

5/23

島田市議選（清水唯史市議）

共に歩んできた20年間

しんば賀津也と歩む会　会長　松下知生

参議院議員　榛葉賀津也誕生から20年、本当に早いものです。

これまでの間、私たちの代表として、また、静岡県の代表として、活躍を続けている榛葉議員に対し本当に誇らしく思いますし、改めて、『しんば賀津也』と歩んでこられたことを嬉しく思います。

私と榛葉議員は高校野球部時代からの球友で、足掛け40年の付き合いとなります。当選前のエピソードもたくさんあり、ご紹介したい事は山ほどありますが、ここでは、やはり初当選した20年前の2001年夏の参議院議員選挙を振り返らせていただきます。

榛葉賀津也34歳の夏です。若さにまかせて、がむしゃらに動きまわり、知名度で後れを取っていた榛葉候補がようやく県下に浸透しはじめてきた頃でした。突然、当時の内閣総理大臣 小泉純一郎氏が対立候補者の応援に入るとの情報が入りました。その日は静岡市の青葉シンボルロードで榛葉候補の大規模集会を予定しており、必死で動員を呼びかけた結果、約500名の聴衆が集まり、まずまずの集会を開催することができました。

しかしその後に静岡入りした小泉総理の下には容易に5,000人を超える人々が集まり、お祭り騒ぎの大集会であったと聞きました。

これでも榛葉賀津也は当選できるのか?と、とても不安になったことを覚えております。最初のチャレンジは厳しいものでしたが、勝つことができて本当に良かったです。皆様これからも榛葉賀津也と共に歩んでまいりましょう。

まちがいさがし　答え ①後ろの万国旗の順 ②テレビ表彰台の順番 ③かき氷の量 ④フェイスシールドの向き ⑤カーテンを束ねる帯の幅 ⑥朝顔の花の大きさ ⑦キキのウインクが逆